

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B1)

(11) 特許番号

特許第6099178号
(P6099178)

(45) 発行日 平成29年3月22日 (2017.3.22)

(24) 登録日 平成29年3月3日 (2017.3.3)

(51) Int.Cl.		F I			
E O 4 B	9/16	(2006.01)	E O 4 B	9/16	B
E O 4 B	9/18	(2006.01)	E O 4 B	9/18	L

請求項の数 2 (全 11 頁)

(21) 出願番号	特願2016-108660 (P2016-108660)	(73) 特許権者	000167211
(22) 出願日	平成28年5月31日 (2016.5.31)		イイファス株式会社
審査請求日	平成28年6月15日 (2016.6.15)		北海道北広島市大曲工業団地 1 丁目 2 番地 6
早期審査対象出願		(74) 代理人	100110766
			弁理士 佐川 慎悟
		(74) 代理人	100133260
			弁理士 小林 基子
		(74) 代理人	100169340
			弁理士 川野 陽輔
		(74) 代理人	100195682
			弁理士 江部 陽子
		(74) 代理人	100206623
			弁理士 大窪 智行

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 天井施工用クリップ

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

建築構造体に支持された長尺形状の野縁受けの下方に、底壁部と、この底壁部の両側縁から上方に立ち上げられた一对の側壁部と、これら一对の側壁部の上端から互いに近接する方向に張り出した一对のリップ部とを備えてなる長尺形状の野縁を、前記野縁受けと直交するように取り付けるための天井施工用クリップであって、

前記野縁の側壁部間内に配置可能な寸法に形成されているとともに前記リップ部より下方位置に配置される底板部と、この底板部の両側端より上方に折り曲げられて一对の前記リップ部を掛止しうる一对のリップ掛止部と、前記底板部から上方向に立ち上げられた背面板部と、この背面板部の前記野縁受けの高さに相当する高さ位置から略直角方向に延出された天板部と、この天板部にボルトを挿通するために開口されてなるボルト挿通孔と、このボルト挿通孔に挿通された前記ボルトを螺合させるために前記底板部の前記ボルト挿通孔に対向する位置に形成されてなる雌ねじ孔とを有しており、

前記ボルト挿通孔に挿通された前記ボルトを前記雌ねじ孔に螺合することにより、そのボルトの外周側面と前記背面板部とによって前記野縁受けの左右側面方向の動きを規制し、かつ、前記天板部と前記リップ部とによって前記野縁受けの上下面を狭持する、前記天井施工用クリップ。

【請求項 2】

前記天板部は、上下平行に配置された下方天板部と上方天板部とで構成されており、前記下方天板部には雌ねじのない前記ボルト挿通孔が形成されており、かつ、前記上方天板